

科目名	義肢装具学演習			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 2年 後期
【授業の目的・ねらい】 作業療法士に必要な義肢や装具を学ぶ。							
【実務者経験】 義肢装具士として、靴の加工の会社のサポートとして製作に従事。							
【授業全体の内容の概要】 各種義肢や各種装具を幅広く理解し、作業療法の介入に必要な基礎知識を学ぶ。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 義肢、特に義手、そして、上肢装具を幅広く理解し、作業療法における治療に役立てることができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	義肢総論						
2	上腕義手						
3	前腕義手						
4	筋電義手						
5	義手のチェックアウト						
6	各種義足について						
7	義足のチェックアウト						
8	義肢のまとめ						
9	装具総論						
10	各種疾患の装具（上肢装具を中心に）						
11	各種疾患の装具（上肢装具を中心に）						
12	スプリント作成						
13	スプリント作成						
14	スプリント作成						
15	スプリント作成						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 義肢装具学							
【準備学習・時間外学習】 しっかり復習して疑問点がないようにしておくこと。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を50点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							